



県議会ふくしま

9月定例会の概要(9/14～10/3開催)

第79号

【企画・編集】
福島県議会広報委員会



ふくしまからはじめよう。

〈広告〉

59件の議案を可決! 90億6,100万円の補正予算など

補正予算の主な内容

総額90億6,100万円

- 帰還者向け災害公営住宅等整備促進事業** 8,826万円
双葉町からの要請を受け、速やかに居住環境を整えるため帰還者向け災害公営住宅や新規転入者向けの賃貸住宅を整備
- 福島インバウンド復興対策事業** 1億4,262万円
外国人観光客の県内への更なる誘客を促進するため、海外メディア向けコンテンツの作成・発信や県内周遊旅行商品の造成に対する支援の拡充
- 福島空港復興加速化推進事業** 6,600万円
ベトナムとの連続チャーター便運航支援や香港とのチャーター便誘致への取組による福島空港利活用を促進
- 幼児教育・保育の無償化に係る経費** 20億円
子育て家庭の経済的負担を軽減

今任期中最後となる9月定例会では、知事提出議案として、90億6100万円による一般会計補正予算などの予算に関する議案3件、「東日本大震災・原子力災害伝承館条例」など条例に関する議案27件、「公の施設の指定管理者の指定について」などその他の議案24件、「決算の認定について」など平成30年度決算関係議案5件、議員提出議案として「トリチウム水の適切な取扱い及び新たな風評が生じないよう徹底した対策を求める意見書」など5件を、それぞれ可決・認定・同意しました。

決算審査特別委員会を開催 平成30年度決算を認定

決算審査特別委員会(小松山善継委員長)は、9月定例会に提出された平成30年度決算関係議案について、会期中、4日間にわたって本庁・出先機関審査を実施し、次の意見を付して議案5件を認定、可決しました。



▲決算審査特別委員長長報告

【主な意見】

- 一般会計について**
一般財源の確保が予断を許さない状況にある中、復興と地方創生に係る多様な膨大な財政需要等に対応するため、引き続き各種基金を有効活用するなど、必要な財源の確保に努めること。
- 工業用水道事業会計について**
好間工業用水道については、厳しい経営状況が続いていることから、経営改善に向け、新たな需要の開拓に努めること。

●**地域開発事業会計について**
未分譲地については、積極的に企業の設備投資情報等の収集を進め、関係機関との連携を一層強化しながら効果的な企業誘致を行い早期分譲に努めること。

●**県立病院事業会計について**
政策医療を担う県立病院の使命を踏まえ、県立医大など関係機関と十分に連携し、医療従事者の安定的確保を図り、質の高い医療の提供に努めること。

総括審査会を開催

10月1日、本会議や常任委員会などで論議が尽くせなかった問題について一問一答により審議する総括審査会(山田平四郎委員長)を開催し、各会派から6名の委員が人口減少問題などについて執

定例会での主な質疑

風評の払拭

【質疑】国際社会に対して本県の正しい情報を発信していくべきと思うが、知事の考えを尋ねる。

【答弁】10月6日からドイツ・スペインを訪問し、復興への取組や本県の魅力を直接発信する。引き続き、国との連携を密にしながら、福島最新の状況を正しく理解してもらうアップデート(情報の更新)と、福島を訪問してもらうビジット(訪問)の取組を進め、国際社会における本県への理解と共感の輪を広げていく。

中山間地域の振興

【質疑】中山間地域の振興にどのように取り組んでいくのか。

【答弁】美しい景観や様々な恵みをもたらししてくれる中山間地域の持続的な活性化は、本県の最重要課題である。地域産業6次化を始め、スマート農業・スマート林業など、地域課題に対応した産業支援を強化しながら、中山間地域の振興に積極的に取り組んでいく。

福島第二原発の廃炉

【質疑】福島第二原発の廃炉に向けてどのように取り組んでいくのか。



▲総括審査会

行部の取組をたじた。

議員提案条例の検討を協議

9月18日に自由民主党から申し入れのあった児童虐待防止に関する議員提案条例制定のため

【答弁】引き続き、県知事として、私が先頭に立ち、国や東京電力に対し、使用済み燃料の全量を県外に搬出し、安全かつ着実な廃炉を進めるよう強く求めるとともに、住民が安心して生活することができる廃炉監視体制整備や安全確保協定の締結、本県の復興に資する廃炉関連産業の集積にも取り組んでいく。

県産農産物の魅力の発信

【質疑】県産農産物の魅力の発信にどのように取り組んでいくのか。

【答弁】食味ランキング2年連続日本一の米や、年間を通して生産される野菜、果物、世界に誇れる日本酒や地域ならではの6次化商品など、生産者のひたむきな思いが込められた県産農産物の魅力を「ふくしまプライド。」の言葉と共に、国内外に広く発信していく。

あおり運転対策

【質疑】あおり運転対策について、県警察の考えを尋ねる。

【答弁】取り締まりの強化のほか、悪質・危険な運転行為には、危険運転致傷罪や脅迫罪を適用し検挙するなど、厳正な捜査と速やかな行政処分を実施し

議員勉強会の開催

の検討組織設置について、9月20日(金)及び10月2日(水)の代表者会議で協議し、今定例会では設置を見合わせ、改選後に世話人会での協議を経て次期議長に検討を委ねることとした。



▲議員勉強会

4議員に永年勤続表彰を伝達

師を迎え、福島県における海面・内水面魚類への放射能の影響と漁業復興への課題について学び、理解を深めた。



▲永年勤続功労者表彰

9月12日、福島大学環境放射能研究所の和田敏裕教授を講

児童生徒の学力向上

【質疑】公立小中学校における児童生徒の学力向上にどのように取り組んでいくのか。

【答弁】全国学力・学習状況調査から見えた課題を解決し、一人一人の長さを伸ばすために、授業を改善することが重要であり、数学と英語の記述式問題の指導法を学校訪問等を通して普及していく。今後は、ふくしま学力調査の生活習慣と学力の関係などの分析結果も活用する。

県立高等学校改革

【質疑】県立高等学校改革における高校の統合について、地域の理解をどのように促進していくのか。

【答弁】統合校それぞれに魅力ある学校づくりを進めていくことが重要であるため、生徒が地域で活動し、地域課題の解決に取り組む探求的な学びの導入や、地元企業や自治体等と連携した学びの実践、学力向上や個性に応じたきめ細かな指導など、特色ある教育活動について具体的に検討を進め、高等学校改革懇談会で丁寧に説明していく。

可決した国への意見書 (10月3日、国へ提出)

- 1 トリチウム水の適切な取扱い及び新たな風評が生じないよう徹底した対策を求める意見書
- 2 太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書
- 3 高齢者の安全運転対策と移動手段の確保を求める意見書
- 4 新規就農者への支援の充実を求める意見書
- 5 水産業の体質強化を求める意見書

第19回 福島県議会議員一般選挙について

◆県議会議員選挙は10月31日(木)告示、11月10日(日)投開票です。復興・創生に向け、県民の皆さんの声を県政に反映させる大切な機会です。不在者投票、期日前投票も利用し、棄権せずに投票しましょう。

お知らせ

- ◆令和元年12月定例会は、12月10日(火)開会の予定です。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL: (024) 521-7608 FAX: (024) 521-7965
メール: gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル (YouTube)」もご覧ください。
- ◆詳しい情報は →

青木総議員(在職30年・いわき市) 瓜生信一郎議員(在職30年・喜多方市・耶麻郡) 神山悦子議員(在職20年・郡山市) 古市三久議員(在職10年・いわき市)